

阪急阪神ホールディングスグループと農業事業における資本業務連携を締結 ～暮らしのそばに「農」がある、豊かなまちづくりを共同推進～

株式会社ゼブラグリーンズ(兵庫県加古川市、代表取締役 柿坪 俊彦、以下「ゼブラグリーンズ」)は、阪急阪神ホールディングス株式会社が設立したコーポレートベンチャーキャピタルファンド「阪急阪神イノベーションパートナーズ投資事業有限責任組合」から出資をうけて、業務連携を強化することをお知らせいたします。

阪急阪神ホールディングスグループは、2019 年の農業事業参入以来、高糖度トマトの生産・販売に取り組んできました。さらなる事業推進に向け、2024 年 12 月にゼブラグリーンズと農業事業における連携協定を締結しました。

ゼブラグリーンズは、関西圏を中心にトマトやレタスなどの生産拠点を展開しています。「タネから始まるヘルスバリューチェーンの構築」を目指して、おいしくて、からだに良いタネ(品種)を世界中から選定し、IoT 技術を駆使したスマート農業を実践しています。

農業従事者の高齢化や担い手不足、気候変動など農業に関する課題が深刻化する中、スマート農業など新たな技術の活用や若い世代の育成が不可欠となっています。ゼブラグリーンズは、阪急阪神ホールディングスグループとの事業連携の強化を契機に、阪急阪神ホールディングスが持つネットワークやノウハウを活用しながら、関西圏だけでなく、首都圏での農業事業を通じて、農民生産の安定化や新たな担い手の育成など農業の課題解決に寄与していきます。

●阪急阪神ホールディングス株式会社 取締役執行役員 グループ開発室長 上田 靖 氏より

「日本の農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足に加え、気候変動に伴う品質や収量の不安定化リスク、海外の事業者との価格競争など、さまざまな要因により厳しさを増しています。

また、このような状況の中で、環境に配慮した持続可能な農民生産を維持し、食料自給率の向上を図っていくことは喫緊の課題となっています。

当社では、ゼブラグリーンズ社が有する農業運営の知見とノウハウを取り入れ、持続可能な農業事業に取り組むとともに、農業事業を通じた自治体との連携の強化等により、さらに豊かなまちづくりの実現を目指してまいります。」

●株式会社ゼブラグリーンズ 代表取締役 柿坪 俊彦(かきつぼ としひこ)より

「このたび、阪急阪神ホールディングスグループと資本業務提携のお知らせができることを大変うれしく存じます。弊社は「Seed to Health(タネから健康まで)」を事業領域とし、おいしくて、からだに良いタネ(品種)を、小売流通や外食産業の皆様を通じて、国内外に広くお届けし、人々の健康に寄与した

いと考えております。阪急阪神ホールディングスグループが目指す快適で魅力的な“まちづくり”を展開されている事業と、長期的な視野で地域社会とのつながりを大切にしながら、農業を展開していく弊社の事業は親和性が高く、これからも暮らしのそばに「農」がある、豊かなまちづくりを実現してまいります。」

【企業概要】

企業名 : 株式会社ゼブラグリーンズ
所在地 : 兵庫県加古川市志方町 759-1
代表者 : 代表取締役 柿坪 俊彦
事業内容 : 野菜の生産・販売、コンサルティング事業
HP : <https://www.zebragreens.jp>



■お問い合わせ

ホームページ : <https://www.zebragreens.jp/>

担当 : 経営管理部 井上千鶴 chizuru-inoue@zebragreens.jp